

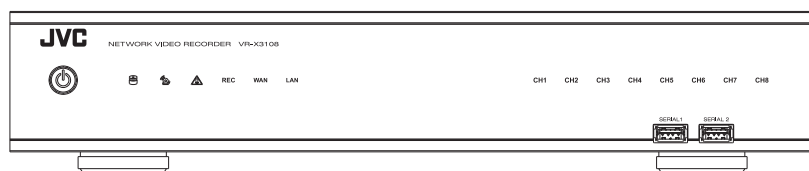


ネットワークビデオレコーダー

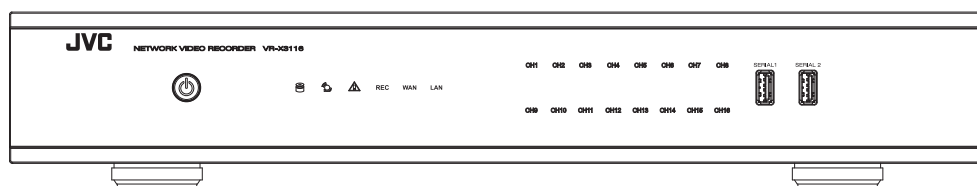
型名

VR-X3108
VR-X3116

クイックユーザーガイド
(設置・設定ガイド)



VR-X3108



VR-X3116

お買い上げありがとうございます。

ご使用前に CD-ROM 内の「取扱説明書」とこの「クイックユーザーガイド」をお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。

お読みになったあとは大切に保管し、必要なときにお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

絵表示について

本書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示（文字含む）を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています



注意

この表示（文字含む）を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています

■ 絵表示の説明

注意（警告を含む）が必要なことを示す記号



一般的注意



感電注意



手や腕の挟み込みに注意

してはいけない行為（禁止行為）を示す記号



禁止



水場での使用禁止



ぬれ手禁止



接触禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号



電源プラグを抜く



一般的指示



アース線を必ず接続せよ



警告

異常が発生したとき

万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない

火災や感電の原因となります。

- ・ 煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
- ・ 画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
- ・ 内部に水や物が入ってしまったとき。
- ・ 落としたり、キャビネットが破損したとき。
- ・ 電源ケーブルが傷んだとき。（芯線の露出、断線など）

このようなときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出ているときは、止まったのを確かめてから販売店に修理を依頼してください。

お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。



設置について

不安定な場所に置かない

ぐらついている台の上や傾いたところに置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがをする原因となります。



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり火災の原因となります。

次のことに注意してください。

- ・ 押し入れ、本箱など狭いところに入れない。
- ・ じゅうたんや布団の上に置かない。
- ・ テーブルクロスなどを掛けない。
- ・ 横倒し、逆さまにしない。



この機器の上に水の入ったもの（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）を置かない

機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。



電源をすぐ切れるように、本機をコンセントの近くに設置する



警告

電源や電源ケーブルについて

表示された電源電圧（交流 100 V）以外で
使用しない
火災や感電の原因となります。



船舶などの直流 [DC] 電源に接続しない
火災の原因となります。



トラックやバスなどの DC24V 電源に接
続しない
火災の原因となります。



雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プ
ラグに触れない
感電の原因となります。



電源ケーブルを傷つけない
電源ケーブルを傷つけると、火災や感電
の原因となります。

- ・電源ケーブルを加工しない。
- ・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張っ
たりしない。
- ・電源ケーブルの上に機器本体や重いも
ののをせない。
- ・電源ケーブルを熱器具に近づけない。



電源プラグやコンセントにほこりや金属
が付着したまま使用しない
ショートや発熱により、火災や感電の原
因となります。半年に一度はプラグを抜
いて乾いた布でふいてください。



電源ケーブルの安全アースを接続する
必ずアース接続を行ってください。万一
漏電した場合は感電の恐れがあります。
アース接続は、必ず電源プラグをコンセ
ントにつなぐ前に行ってください。また、
アース接続をはずす場合は、必ず電源プ
ラグをコンセントから抜いて行ってくだ
さい。



アース
線を必
ず接続
せよ

取り扱いについて

内部に物を入れない
通風孔から、金属類や燃えやすいものな
どが入ると、火災や感電の原因となりま
す。特に小さいお子様のいるご家庭では
注意してください。



この機器の（裏ぶた、カバー、キャビネッ
ト）ははずしたり、改造しない
内部には電圧の高い部分があり、火災や
感電の原因となります。内部の点検、修
理は販売店に依頼してください。



風呂場など水のある場所で使わない
機器の内部に水が入ると、火災や感電の原
因となります。また、雨天、降雪中、海岸、
水辺で使用するときはご注意ください。



注意

設置について

次のような場所に置かない
火災や感電の原因となることがあります。

- ・湿気やほこりの多いところ
- ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯
気が当たるところ
- ・熱器具の近くなど
- ・窓を閉めきった自動車の中や直射日光
が当たって温度が上がる場所
- ・窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ



次のような場所に置かない
誤動作や故障の原因となります。

- ・許容動作温度（5℃～40℃）範囲
外の暑いところや寒いところ
- ・許容動作湿度（30% RH～80% RH）
範囲外の湿気の多いところ（結露なき
こと）
- ・変圧器やモーターなど強い磁気を発生
する場所
- ・トランシーバーや携帯電話など電波を
発生する機器の近く
- ・ほこりや砂の多いところ
- ・振動の激しいところ
- ・窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
- ・厨房など蒸気や油分の多いところ
- ・放射線やX線、および塩害や腐食性ガ
スの発生する場所
- ・プールなど、薬剤を使用する場所



この機器の上に重い物を置かない
重いものや本体からはみ出るような大き
な物を置くと、バランスがくずれて倒れ
たり落ちたりして、けがの原因となるこ
とがあります。



機器を重ねて使用しない
お互いの熱やノイズの影響で誤動作し
たり故障したり、火災の原因となることが
あります。





注意

テレビ、オーディオ機器、ビデオ機器、スピーカーなどの機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明書に従って接続する

接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



外部接続端子を接続する場合は本機のグラウンドと外部機器のグラウンドを同電位にして接続する

異電位で接続すると感電の危険性や信号源または本製品が壊れる恐れがあります。



電源や電源ケーブルについて

電源プラグはケーブルの部分を持って抜かない

電源ケーブルを引っ張ると、ケーブルに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。



移動するときは、電源プラグや接続ケーブル類をはずす

接続したまま移動すると、ケーブルに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。



電源プラグは、根元まで差し込んでみがあるコンセントには接続しない
発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



電源ケーブルは、本機に付属のもの以外を使用しない また、付属の電源ケーブルは本機専用のため本機以外の機器では使用できない

必ず本機に付属のものをご使用ください。耐圧の異なるケーブルや、傷ついたケーブルを使用すると、火災や感電の原因になります。



専用 AC アダプターを使う

指定以外のものを使用すると火災や感電の原因になることがあります。また、本機の AC アダプターを他の機器に使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。



取り扱いについて

この機器の上に乗らない、ぶら下からない
倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。



この機器の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない

頭からかぶると窒息の原因となります。



お手入れについて

2～3年に一度は内部の掃除を販売店に依頼する

内部にほこりがたまったら使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。



お手入れするときは電源プラグを抜く
感電の原因となることがあります。



本機は柔らかい布でふく

シンナーやベンジンでふくと、表面がとけたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。



音声・スピーカーについて

聞き終わったら、電源を切る前に、音量を下げる（電子式ボリュームの場合）

音量が上がっていると、電源を入れたとき突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



長時間、音がひずんだ状態で使わない
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



正しくお使いいただく ためのご注意

保管および使用場所

- 本機および本機に接続したケーブルが強い電波や磁気の発生するところ（例、ラジオ、テレビ、変圧器、モニターなどの近く）で使用された場合、画像にノイズが入ったり、色彩が変わることがあります。

取り扱いについて

- 本機を縦置きで使用しないでください。

著作権について

- 本機で録画・録音したものを営利目的、または公衆に視聴することを目的として放映することは、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
- 録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権上、権利者に無断で使用できません。
- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、© などのマークは省略してあります。

免責について

- 動き検出機能は、簡易的な機能であり、警報機の代用として使用することはできません。検出できなかった場合、または誤検出したことによる一切の不便や損害については補償できません。またアラーム入出力に対して動作不具合の場合に発生した不便や損害は補償できません。
- 本機の映像 / 音声によりプライバシー侵害などが発生した場合、万一発生した損害に対する責任は一切負いません。

ハードディスクドライブについて

- 本機は精密機器であるハードディスクドライブ（以下 HDD）を搭載しております。振動や衝撃を与えないよう取り扱いには十分ご注意ください。特に通電中や HDD へのアクセス中に振動や衝撃を与えると、故障の原因となりますので十分ご注意ください。
- HDD のデータを読み書きするヘッドとディスクの距離はわずか $0.02 \mu\text{m}$ 程度です。HDD に振動や衝撃が与えられた場合、ヘッドがディスクに衝突し、ディスクの表面に打痕やディスクのかけらが発生することになります。これにより、データが読み出せなくなるばかりか、使用し続けるとヘッドクラッシュ（損傷）に陥る原因となりますので、取り扱いには十分ご注意ください。
- 設置時および設置場所の移動について通電中や電源を切った直後（約 1 分間）は、移動や設置作業は絶対に行わないでください。電源を切っても、HDD はしばらくの間は惰性で回転しているため、この間振動や衝撃を与えると HDD の故障の原因になることがあります。衝撃を与えないように緩衝材などで包んで移動させてください。
- HDD は消耗品です。使用環境により異なりますが、周囲温度 25°C で使用した場合、18,000 時間をめやすに交換することをおすすめします。（ただし、この時間はめやすであり、HDD の寿命を保証するものではありません。）メンテナンスの計画、費用などのご相談は、ご購入先の販売店、または最寄りのサービス窓口へお願いします。
- システムの安定動作のため、UPS（無停電電源装置）のご使用をおすすめします。
- HDD のフォーマットや切断処理をしているときに停電が発生すると、UPS を接続している場合でも、その後の運用に支障が生じることがあります。
- 万一本機、および HDD などの不具合により、正常に記録できなかったり、再生できなかった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。
- HDD を交換した場合は、記録された画像が消去されます。また、本機のソフトウェアのバージョンアップによって、記録画像が消去されることがありますので、ご注意ください。
- HDD の増設および容量の変更はできません。

その他

- 工場出荷時のユーザー名とパスワードは広く公開されているため、変更せずに使用していると大変危険です。容易に推測されない文字と数字を組み合わせたユーザー名とパスワードに設定してください。また、ユーザー名とパスワードは、定期的に変更してください。設定方法については、取扱説明書の 67 ページをご覧ください。
- 落雷などにより電源電圧が変動した場合、システム保護のため電源電圧が安定するまで操作できないことがあります。
- 機器設置等で入出力端子に触れる際にはあらかじめ静電気を除去したあと、作業を行なってください。
- 静電気により誤動作をする場合がありますので、動作中は本機のリアパネルに触れないでください。
- 外来の雑音などによって、アラームが誤動作を起こす場合があります。その場合は、雑音源からケーブルを遠ざけるか、シールドタイプのケーブルをご使用いただくなどの処置を行なってください。
- 本機内部のファンは消耗部品です。ファンは 4 年で交換してください。なお、ファンが何らかの原因で停止したときに、メールなどで知らせることができます。
- ファンが停止した場合、または交換の際には、本機の電源を切り、最寄りのサービス窓口へお問い合わせください。

妨害波に関する表示

型名	VR-X3108	VR-X3116
適合技術基準	VCCI	J55022 (※)
表示	この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A	この製品は、クラス A 情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

(※) 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈：別表第十二

もくじ

はじめに	7
特長	7
本書の見かた	7
各部の名称とはたらき	8
前面	8
背面	9
設置から運用までの流れ	10

設置・接続	11
ラックに設置する (VR-X3116 のみ) ...	11
本機と外部機器を接続する	13
電源を入れる／切る	16
ネットワークカメラを本機に追加する ...	17
「スマートウィザード」 簡単登録	18
「スマートウィザード」 手動登録	22
手動登録	25
RTSP 対応カメラ (ONVIF 対応カメラなど) の登録	26

こんなときは	28
異常処理メッセージが表示された時の対応 ...	28
工場出荷設定に戻すには	29

保証とアフターサービス	30
-------------------	----

仕様	31
----------	----

付属品	34
-----------	----

付録	35
対応ネットワークカメラ一覧	35
対応 UPS 一覧	35
記録時間表	36
初期値一覧	37

はじめに

本機は、ライブ、録画、再生が可能なネットワークビデオレコーダーです。H.264 High Profile をサポートしています。また、スケジュール録画、ノーマル録画、イベント録画（アラーム入力、動き検出）など複数の録画モードを持ち、最大 8 チャンネル（VR-X3108）/16 チャンネル（VR-X3116）のフル HD 録画が可能です。

特長

- 複雑なネットワーク設定を本体で実現可能。
- フル HD モニターによる高解像度のライブ表示や再生が可能。
- 簡単登録：自動登録により簡単設定を実現。
- 最大 8 チャンネルまたは 16 チャンネルのフル HD による録画が可能。
- 日付、時刻、イベント、チャンネルを条件にした使いやすい検索機能。
- エクスポートした映像の改ざん検出機能。
- ライブ・再生時のデジタルズーム機能。
- Android デバイス、iPhone、iPad からリモート監視が可能。
- Security Center: 256 チャンネル・カメラを管理するアプリケーションを提供。最大 36 チャンネルの同時監視と 1 台のネットワークビデオレコーダーの再生が可能。最大 16 台のネットワークビデオレコーダーを登録可能。
- PTZ カメラの操作: 本機から PTZ (パン/チルト/ズーム) カメラを直接操作することが可能。

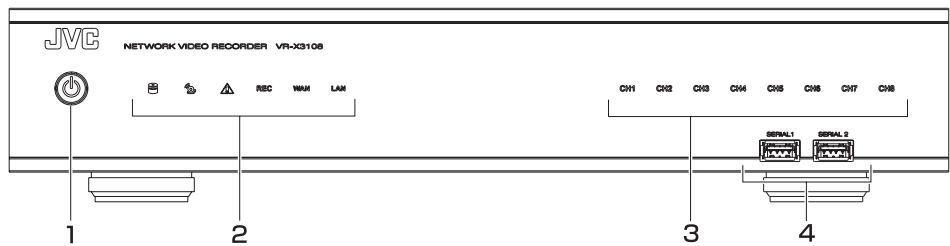
本書の見かた

- **本文中の見かた**
ご注意：操作上の注意が書かれています。
メモ：機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
- **本書記載内容について**
 - ・ 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
 - ・ 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。
 - ・ Windows、Internet Explorer、ActiveX は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 - ・ Intel Core は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
 - ・ Android は、Google Inc. の商標または登録商標です。
 - ・ iOS は、米国およびその他の国における Cisco 社の商標または登録商標です。
 - ・ iPhone、iPad は、Apple Inc. の商標または登録商標です。
 - ・ 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
 - ・ 本書で使われている画面は、実際のものとは異なる場合があります。
 - ・ 最新の取扱説明書・クイックユーザーガイドやファームウェアは、弊社ホームページの「ビジネス向け製品・サービス」にてご確認ください。
弊社ホームページ：<http://www3.jvckenwood.com/>

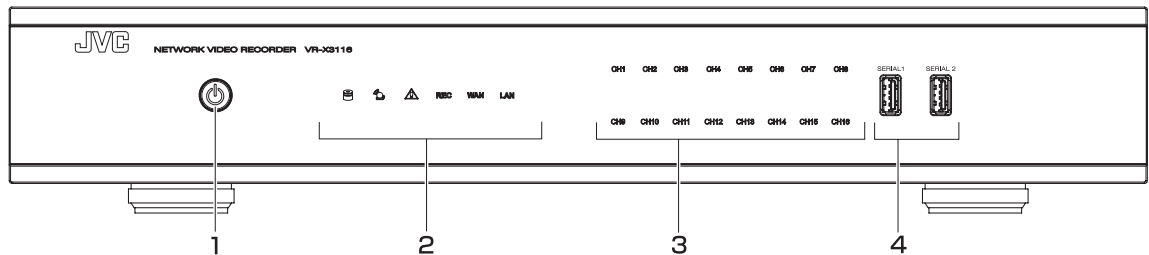
各部の名称とはたらき

前面

VR-X3108



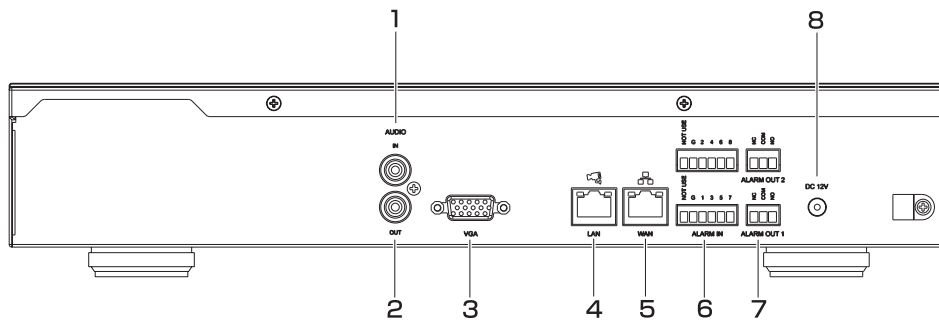
VR-X3116



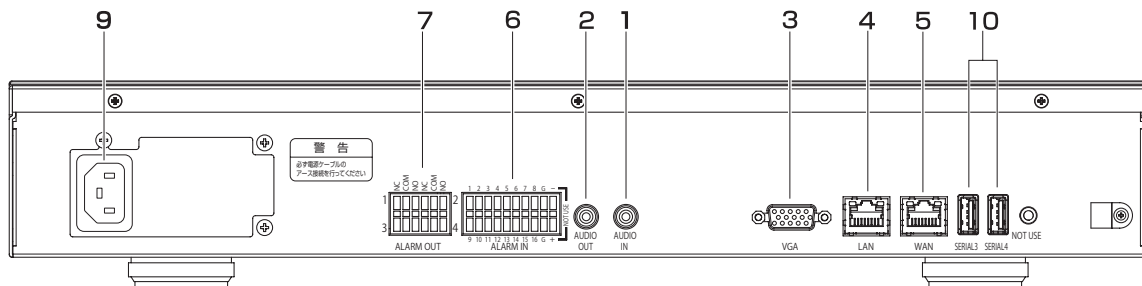
No	インターフェース	機能
1		本機の電源をオン／オフします。（オン：青点灯、オフ：オレンジ点灯）
2		HDD インジケータ。HDD にアクセスしているときに点滅します。
		アラームインジケータ。アラームが検出されたときに点滅します。
		例外インジケータ。ディスクフル、ディスク故障、ディスクなし、ネットワークロス、不正ログイン、ディスク温度過上昇、ファン故障、電源損失、IP コンフリクトなどの例外警告が検出されたときに点滅します。
	REC	[REC] インジケータ。録画中に点灯します。
	WAN	[WAN] インジケータ。WAN ポートがハブを介してリモート監視機器に接続されている場合に点滅します。
	LAN	[LAN] インジケータ。LAN ポートがハブを介してネットワークカメラに接続されている場合に点滅します。
3	[CH1] - [CH8] [CH9] - [CH16]	カメラインジケータ。カメラが接続されているときに点灯します。（VR-X3108 は CH1-CH8 まで、VR-X3116 は CH1-CH16 まで）
4	[SERIAL]	シリアル端子。マウス、USB メモリー、UPSなどを接続します。

背面

VR-X3108



VR-X3116



No	インターフェース	機能
1	[AUDIO IN]	マイクなどと接続します。(音声送信用)
2	[AUDIO OUT]	スピーカーまたはその他のオーディオ出力デバイスと接続します。
3	[VGA]	モニターの映像入力端子 (D-Sub15 ピン) と接続します。
4	[LAN]	RJ-45 ネットワークケーブルでネットワークカメラを接続したハブと接続します。
5	[WAN]	RJ-45 ネットワークケーブルでリモート監視機器を接続したハブに接続します。
6	[ALARM IN]	アラーム入力を接続します。(VR-X3108 は 1-8 / VR-X3116 は 1-16)
7	[ALARM OUT]	NO (メイク接点) または NC (ブレイク接点) タイプのアラーム信号を出力します。(VR-X3108 は 1、2 / VR-X3116 は 1-4)
8	[DC 12V]	付属の AC アダプター (DC12V) を接続します。(VR-X3108 のみ)
9	[AC 100V]	付属の電源ケーブルで AC 100V のコンセントに接続します。(VR-X3116 のみ)
10	[SERIAL]	シリアル端子。マウス、USB メモリー、UPS などを接続します。(VR-X3116 のみ)

設置から運用までの流れ

本機の設置からシステム運用までは次のような流れで進みます。

メモ 本機の設置、設定の前にネットワークカメラを設置してください。

■ 設置

ネットワークビデオレコーダーの設置を行う	本機をラックなどに設置します。	11 ページ
----------------------	-----------------	--------



ネットワークビデオレコーダーの接続を行う	外部機器との接続やネットワーク接続を行います。	13 ページ
----------------------	-------------------------	--------



ネットワークカメラを追加する	ネットワークカメラのパラメーターを設定し、ネットワークカメラを本機に自動または手動で登録します。	17 ページ
----------------	--	--------



設置完了

■ 運用

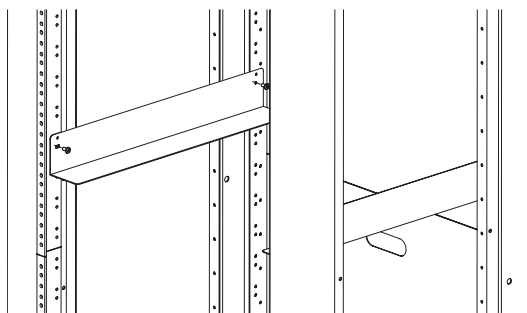
ライブ映像や再生映像を見る	カメラからのライブ映像やネットワークビデオレコーダーに記録された映像を再生します。必要に応じて記録映像を USB メモリーなどに保存します。	取扱説明書 30 ページ 取扱説明書 33 ページ 取扱説明書 39 ページ
---------------	--	--

ラックに設置する（VR-X3116 のみ）

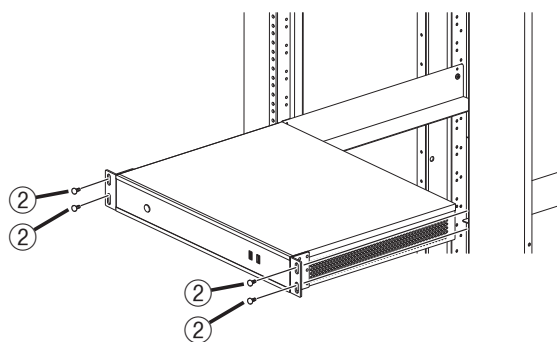
付属のラックマウント金具と別売の金具（VR-RU45Z/VR-RU57Z ラックブラケット）を使用し、本機を EIA ラックに取り付けます。

- ご注意**
- EIA ラックへの取り付けについては、お買い上げ販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。
 - 電源は本機をラックに取り付け、ねじで固定したあとに入れてください。
 - ラックに取り付けた本機の上に、物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがや破損の原因になることがあります。
 - 本機を 2 台以上ラックに取り付ける場合、必ず 1U 以上離して取り付けてください。
 - 別売のラックブラケットの取扱説明書もご覧ください。
 - ラックブラケット VR-RU45Z は奥行き 454 mm のラック用です。
 - ラックブラケット VR-RU57Z は奥行き 572 mm のラック用です。
 - 他社製ラックをご使用になる場合は、本機に付属されているラックマウント金具とご使用になるラックの台板などを必ず取り付けてください。
 - ラック内の温度が本機の許容動作温度範囲内（5℃～40℃）になるように、設置間隔などに注意して設置してください。
 - 本機背面の端子にケーブル等を接続する際、本機背面からラックの背面パネルまでの間隔を 10cm 以上空けてください。（10cm 以上間隔を空けられない場合は、ラックの背面パネルを取りはずしてご使用ください。）

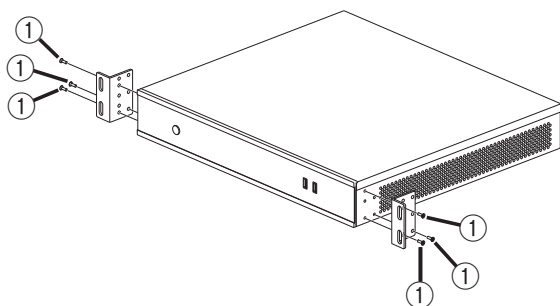
1. 別売のラックブラケットをねじ（M4 × 8 mm）2 本でラックの左右に取り付ける。
ねじは別売のラックブラケットに付属のものを使用します。



3. 本機に付属のねじ②（M5）4 本でラックに固定する。



2. 本機に付属のねじ①（M4）6 本で本機にラックマウント金具を取り付ける。



本機の端子に接続する機器

- モニター

背面の [VGA] 出力端子にモニターを接続します。対応解像度は、1920 × 1080、1440 × 900、1366 × 768、1280 × 1024、1024 × 768 です。

- マウス

本機は、前面または背面（VR-X3116 のみ）のシリアル端子に接続したマウスで操作します。

- マイク

[AUDIO IN] 端子に、マイクを接続します。カメラに音声を送信できます。

- スピーカー

[AUDIO OUT] 端子に、カメラ、Web Viewer または Security Center から受信した音声を出力します。アンプ内蔵タイプのスピーカーを接続します。

ご注意 オーディオケーブルは、シールドタイプをご使用ください。

- ネットワークカメラ

[LAN] 端子にネットワークカメラを接続します。

ご注意 ・ [LAN] 端子はインターネットに接続しないでください。インターネットの混雑状況や中継機器などの状況により重要なカメラの映像が保存できなくなる場合があります。

・ カメラを接続するネットワークは同一セグメント（NAT、NAPT などのアドレス変換やルーターを使わない）としてください。

・ LAN ケーブルは、カテゴリ 5 以上のものをご使用ください。

・ 故障したスイッチングハブやルーター、劣化したネットワークケーブルなどは接続しないようにしてください。システムが正しく動作しないことがあります。

- Web Viewer、Security Center、モバイルデバイス

[WAN] 端子に Web Viewer、Security Center、モバイルデバイス（Android、iPhone 等）を接続します。

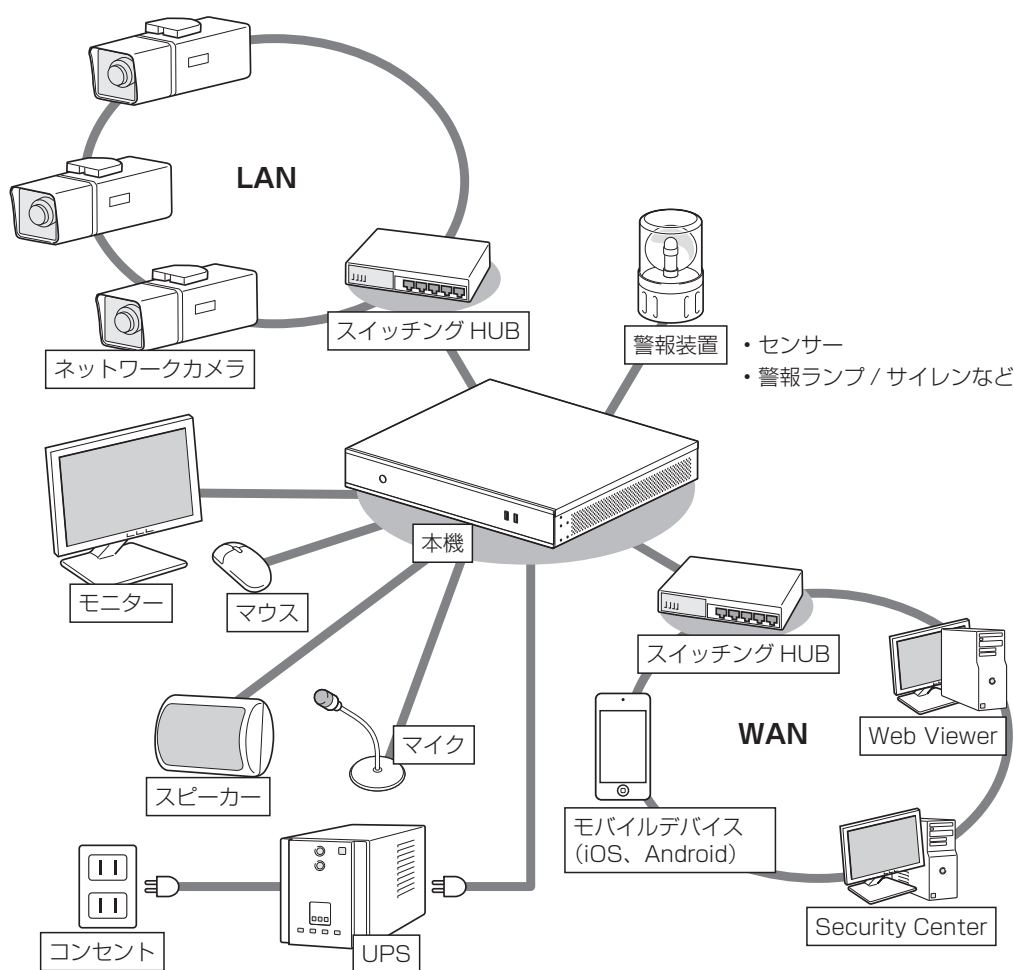
ご注意 WAN をインターネットに接続して監視用パソコンなどで使用する場合は、グローバル IP アドレスの取得や IP マスカレードの設定、VPN 接続など別途回線業者との契約が必要になる場合があります。また、インターネットに接続するためのブロードバンドルーターの設定が必要になります。

本機と外部機器を接続する

基本システム構成

本機を使用して、次のような監視システムを構築できます。

- 8 チャンネルまたは 16 チャンネルのカメラでライブ映像の監視と映像の記録・再生
- 音声を記録、再生
- マイク音声を指定カメラのスピーカーで再生
- アラームによる記録
- パソコンを使用しての遠隔監視



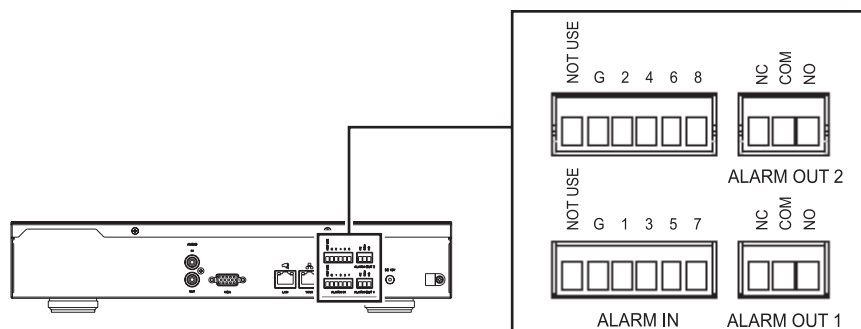
ご注意 VR-X3108 では、シリアル端子を使用する場合、以下の点にご注意ください。

- ・ UPS を接続する場合は、右側のシリアル端子 [SERIAL 2] に接続してください。
- ・ USB HUB、USB メモリー を使用する場合は、左側のシリアル端子 [SERIAL 1] に接続してください。
- ・ UPS、マウス、USB メモリーを同時に接続する場合は、左側のシリアル端子 [SERIAL 1] に USB HUB を接続し、USB HUB にマウス、USB メモリーを接続し、右側のシリアル端子 [SERIAL 2] に UPS を接続してください。

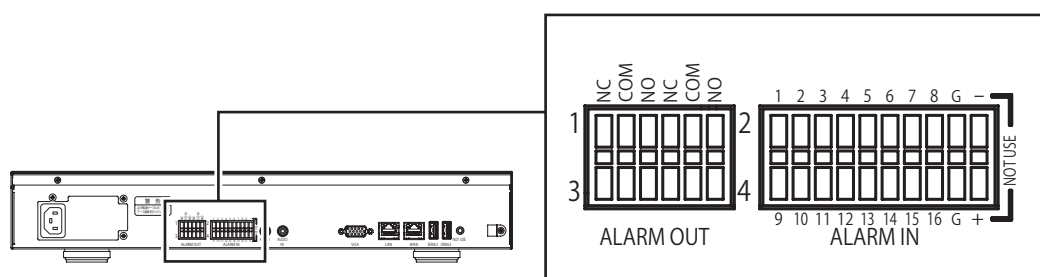
● アラーム入力／出力の接続

本機のアラーム入力／出力インターフェースは次のとおりです。

VR-X3108



VR-X3116



● アラーム入力の接続

センサーを接続します。8 個 (VR-X3108) または 16 個 (VR-X3116) の入力端子および GND 端子から構成されています。設定により NO (メイク接点) または NC (ブレイク接点) を選択できます。NO (メイク接点) または NC (ブレイク接点) のどちらかで配線します。

● 仕様

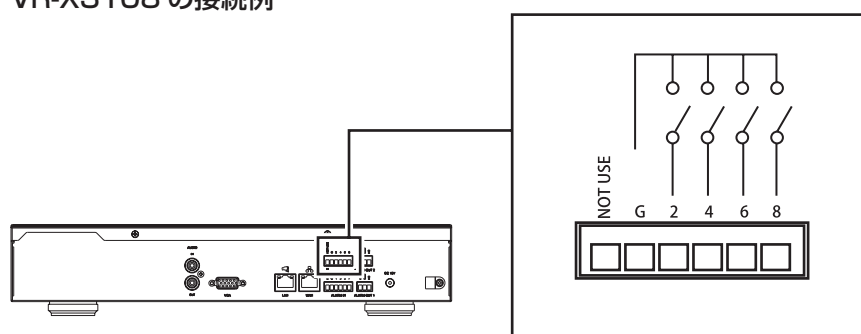
アラーム入力インピーダンス：10k Ω

入力電圧範囲：DC 0V ～ 12V

入力電圧のしきい値：Low 電圧 0.5V 以下、High 電圧 2V 以上

検出可能な最小パルス幅：250 ミリ秒

VR-X3108 の接続例



- **アラーム出力の接続**

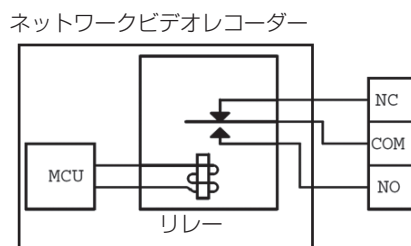
アラーム出力は背面のアラーム出力端子の NO（メイク接点）または NC（ブレイク接点）が利用できます。アラーム出力はリレー接点になっているため、連続して DC 24V、500mA 以上または 10VA 以上の電流が流れないようにしてください。

- **仕様**

スイッチング電流：最大 500mA

スイッチング電圧：最大 DC 24V

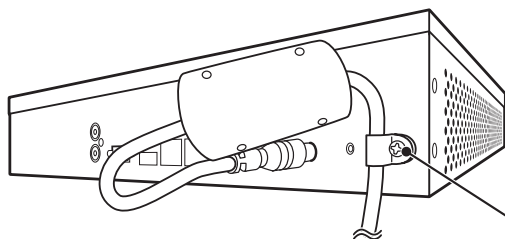
ケーブル断面：AWG 26-16 (0.13mm^2 - 1.5mm^2)



ワイヤークランプでケーブルを固定する

ケーブルは、抜け防止のため、次のようにワイヤークランプで固定します。

VR-X3108 は電源ケーブルを固定します。



ねじをはずして電源ケーブルをワイヤークランプにとおしてから、ねじを固定してください。

VR-X3116 は必要に応じてケーブル類を固定してください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

付属の電源ケーブル、および AC アダプター（VR-X3108 の場合）を使用して、本機を AC 100 V（50 Hz/60 Hz）のコンセントにつなぐと、自動的に起動します。

- メモ** UPS を接続することができます。UPS を接続すると、停電発生時には UPS の機能により自動的にシャットダウンを行うことで、安全に電源を切ることができます。
- UPS の接続については、取扱説明書 65 ページの「デバイス」 - 「UPS」を参照してください。

- ご注意** ・ UPS の通信ケーブルは、本機の電源を入れる前に接続しておいてください。
- ・ 運用中に UPS の通信ケーブルをはずさないでください。

電源を切る

フロントパネルの電源ボタンを 5 秒間押し続けます。

- メモ** ・ [設定] - [メンテナンス] - [シャットダウン] の [シャットダウン] をクリックして電源を切ることもできます。
- ・ 電源を切ったあと、再度フロントパネルの電源ボタンを押すと、電源を入れることができます。

ネットワークカメラを本機に追加する

本機にカメラを追加するには以下の方法があります。

- 「スマートウィザード」 簡単登録（18 ページ）

LAN 内にあるすべてのカメラの IP アドレスを自動的に変更し、登録する場合に使用します。本機とカメラは工場出荷状態にしてください。LAN 内に他のネットワークビデオレコーダーで使用しているカメラがある場合には、以下の方法を使用して登録してください。

- 「スマートウィザード」 手動登録（22 ページ）

カメラの IP アドレスを割り当て済みの場合に使用します。本機の初期設定をウィザード形式で行なったあと、LAN 内でカメラを検索した結果から選択してカメラを登録します。

- 手動登録（25 ページ）

カメラの IP アドレスを割り当て済みの場合に使用します。カメラのモデル名、IP アドレスなどを手動で入力し登録します。VN-E4B、RTSP 対応カメラは手動登録を使用してください。

- 検索（取扱説明書 45 ページ）

カメラの IP アドレスを割り当て済みの場合に使用します。LAN 内でカメラを検索した結果から選択してカメラを登録します。

メモ 自動検索とカメラ登録（プラグ&プレイ）

LAN 内にカメラが追加された場合に、自動的に登録することができます。設定メニューの [デバイス]  で、「自動検索とカメラ登録を有効にする」を有効にすると、自動スキャンが有効になりネットワークカメラが自動登録されます。詳細は取扱説明書 65 ページの「自動検索とカメラ登録を有効にする」を参照してください。

「スマートウィザード」簡単登録

「スマートウィザード」簡単登録機能を使用すると、本機は LAN に接続されているネットワークカメラを自動的に登録し、映像を表示します。

ご注意 本機能を使用するとネットワークカメラの IP アドレスが自動的に変更されます。簡単登録を行う場合は、本機とネットワークカメラを工場出荷状態にしてください。ネットワークカメラが自動的に設定できない場合、ネットワークカメラの電源がオンになっているかご確認ください。

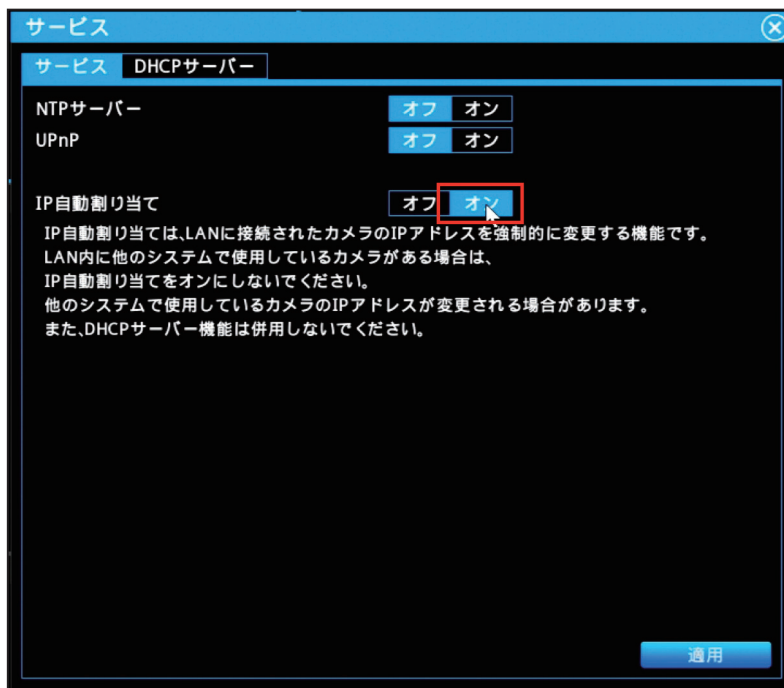
接続するネットワークカメラは、「簡単登録」機能の使用可能なモデルである必要があります。また、ネットワークカメラの電源がオンになっていることをご確認ください。使用可能モデルは 35 ページの「付録」の「対応ネットワークカメラ一覧」に記載されている機器のうち VN-E4B を除いたカメラです。

「スマートウィザード」でネットワークカメラを自動登録する場合は、次の手順を実行してください。

- ① 異常処理等のダイアログが表示されている場合は [OK] をクリックして閉じてください。
- ② 工場出荷状態ではスマートウィザードが自動的に表示されるので、[×] をクリックし、画面を閉じてください。
- ③ 画面上部の [設定]  をクリックします。



2. ① 設定メニューの [サービス]  をクリックします。
- ② IP 自動割り当てを「オン」にし、[適用] をクリックします。
- ③ [×] をクリックし、画面を閉じます。



ご注意 LAN 内に他のシステムで使用しているカメラがある場合は、「スマートウィザード」簡単登録を使用しないでください。IP 自動割り当てを「オン」にすることにより、使用中のカメラの IP アドレスが変更されシステムの運用に障害が発生します。

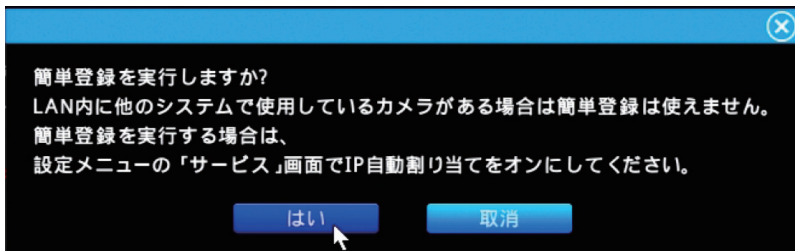
3. ① IP アドレスの割り当てが完了するまで 2 分程度待ちます。
- ② 設定メニューの [デバイス]  をクリックします。
- ③ スマートウィザード [開始] をクリックします。



4. ① 「IP カメラパスワード」 の入力欄をクリックし、"jvc"（小文字 3 文字）と入力し、[Enter] をクリックします。



5. ① スマートウィザードの「適用」をクリックします。
- ② 簡単登録の実行確認ダイアログが表示されるので、「はい」をクリックします。
- ③ 簡単登録が実行されるので、しばらく待ちます。



6. ① 接続されているすべての対応カメラが登録完了すると、["*" New IP-Cam was Installed.]と表示されます。("*"は登録されたカメラ台数が入ります。下記では3台登録されています。)



7. ① 設定メニューの [サービス]  をクリックします。
 ② IP 自動割り当てを「オフ」にし [適用] をクリックします。
 ③ [×] をクリックし、画面を閉じます。

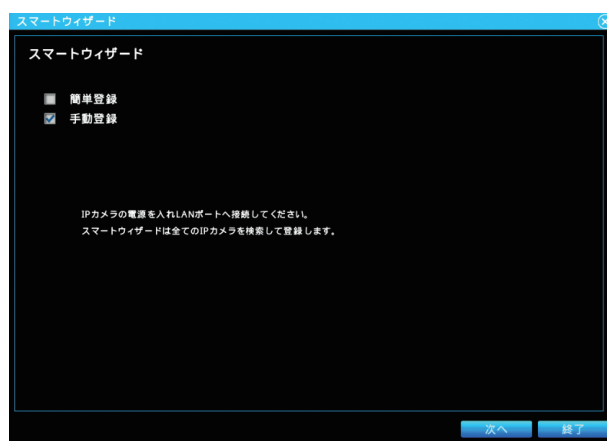


ご注意 スマートウィザード終了後、IP 自動割り当ては必ず「オフ」にしてください。「オン」のままにすると、本機の再起動時にカメラの IP アドレスが毎回変更されます。

「スマートウィザード」 手動登録

「スマートウィザード」でネットワークカメラを手動で追加する場合は、次の手順を実行してください。接続するネットワークカメラは、検索可能なモデルである必要があります。また、ネットワークカメラの電源がオンになっていることをご確認ください。使用可能モデルは 35 ページの「付録」の「対応ネットワークカメラ一覧」に記載されている機器のうち VN-E4B を除いたカメラです。

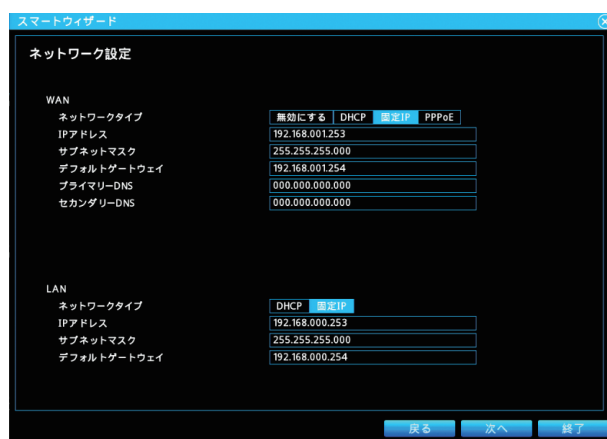
- ① 画面上部の「設定」 をクリックします。
- ② 設定メニューの「デバイス」 をクリックします。
- ③ スマートウィザード「開始」をクリックします。
- ④ 「手動登録」にチェックを入れ「次へ」をクリックします。



2. 本機の設定をします。NVR 名の変更、ログイン認証を有効にするのオン / オフ、HDD の録画データを残すか否かを設定することができます。言語の設定は日本語を選択してください。本機の設定後、「次へ」をクリックします。



3. WAN と LAN のネットワーク設定をします。



「WAN」は本機をリモート監視機器に接続するための設定、「LAN」はネットワークカメラを本機に接続するための設定です。「WAN」ポートを介して本機をインターネットに接続する場合、「DHCP」、「固定IP」、「PPPoE」いずれかのオプションを有効にして、それぞれ設定します。本機の「LAN」ポートがネットワークカメラに接続されている場合、「固定IP」を有効にして設定を行います。ネットワークの設定後、「次へ」をクリックします。

ご注意 WANポートを使用しない場合は、必ず「無効にする」を選択してください。

4. 本機の日付／時刻を設定します。「日付／時刻」の設定後、「適用」をクリックして変更を保存し次に進みます。より正確な時刻で記録するために、NTPクライアントを設定することをおすすめします。



- 「時刻設定」：欄をクリックするとカレンダー画面が表示されます。システムの日付と時刻を設定してください。「適用」をクリックすると設定が有効になります。
- 「タイムゾーン」：GMT+09:00 に設定します。
- 「日付フォーマット」：日付の形式を「YYYY/MM/DD」、「MM/DD/YYYY」、「DD/MM/YYYY」から選択します。
- 「時間フォーマット」：時間の形式として「12 時」または「24 時」を選択します。
- 「NTPを有効にする」：NTP同期を有効／無効にします。

5. 「適用」をクリックすると、LANに接続されているネットワークカメラの検索を開始します。



- 本機がネットワークカメラを検出すると、ネットワークカメラリストが表示されます。左下のチャンネルリストからチャンネルを選択し、[追加] をクリックするとネットワークカメラを追加することができます。



- ネットワークカメラを本機に追加したあと、ネットワークカメラのパラメーター設定を開始します。



- 設定が完了すると、ネットワークカメラが正常に本機に追加されていることを示す成功メッセージが表示されます。



手動登録

「カメラ」 - 「カメラ設定」メニューから手動でネットワークカメラを追加することができます。ネットワークカメラの追加は、次の手順で行います。

1. 「手動登録」をクリックして、ネットワークカメラを追加します。



チャンネル 09-16 は VR-X3108 では表示されません。

2. 「手動登録」をクリックすると下の画面が表示されます。ネットワークカメラの「モデル名」、「IPアドレス」、「マネージメントポート」、「ユーザー名」、「パスワード」、「ストリームプロファイル」を設定します。設定が完了したら、「適用」をクリックして設定を保存し、次のステップに進みます。



3. ネットワークカメラの登録が正常に完了すると、成功メッセージが表示されます。



RTSP 対応カメラ（ONVIF 対応カメラなど）の登録

RTSP に対応したネットワークカメラを登録することができます。

接続するネットワークカメラは、あらかじめ PC などに接続してカメラのプロファイルごとの解像度、フレームレート、ビットレートの設定を行なっておく必要があります。

登録を行うときにはカメラの以下の情報が必要です。

- IP アドレス
- RTSP ポート番号
- ユーザー名、パスワード（RTSP 認証を使用する場合）
- RTSP URL（メイン、サブプロファイルの 2 つ）

メモ RTSP はネットワークを経由して映像等を受信するプロトコルです。RTSP でカメラの映像を受信するには RTSP の URL を入力する必要があります。RTSP URL はカメラの取扱説明書を参照するか、カメラの製造メーカーにお問い合わせください。

ご注意 RTSP に対応したネットワークカメラでも登録できない場合があります。サブプロファイルの解像度は 640 × 360 以下である必要があります。また、サブプロファイルの解像度はメインプロファイルの解像度よりも小さくするか、または同一にしてください。

RTSP カメラを追加する場合は、次の手順を実行してください。

1. 「カメラ」 - 「カメラ設定」メニューを開き、[手動登録] をクリックします。
2. モデル名から「Other Camera」を選択します。
3. 以下の値を入力します。

- IP アドレス
- RTSP ポート番号
- ユーザー名、パスワード（RTSP 認証を使用する場合）
- RTSP URL（例 ONVIF/Streaming/channels/O）

メモ ここでユーザー名、パスワード、RTSP URL を入力せず、カメラ登録後に PC を使用して入力することもできます。詳細については、27 ページの「ユーザー名、パスワード、RTSP URL を Web から入力するには」を参照してください。

4. [適用] をクリックします。
5. 登録したカメラの映像が表示されていることを確認します。

ご注意 手順 3 で RTSP URL を入力しなかった場合は、カメラの映像は表示されません。27 ページの「ユーザー名、パスワード、RTSP URL を Web から入力するには」を参照し、正しい RTSP URL を入力してください。

カメラ	CH01: N/A
モデル名	Other Camera
IPアドレス	192.168.0.002
RTSPポート	554
ユーザー名	
パスワード	
ストリームプロファイル	
メインプロファイルRTSP URL	
サブプロファイルRTSP URL	

メモ 正しいIPアドレス等を入力しても映像が表示できない場合は、「カメラ」-「カメラ設定」メニューを開き、設定値をご確認ください。

ユーザー名、パスワード、RTSP URL を Web から入力するには

RTSP カメラの登録の手順3でユーザー名、パスワード、RTSP URL を入力しなかった場合は、以下の手順で正しいRTSP URL を入力してください。

1. Web Viewer を開き、[設定] をクリックしてシステム設定メニューを開きます。（取扱説明書 82 ページの「リモートライブビュー」画面を参照してください。）
2. 「カメラ」-「カメラ設定」メニューを開き、設定したいカメラのアイコンをクリックします。
3. ユーザー名、パスワード、およびストリームプロファイルのメインプロファイル RTSP URL およびサブプロファイル RTSP URL に正しいURL を入力し、[適用] をクリックします。
4. 登録したカメラの映像が表示されていることを確認します。

カメラ設定	
CH 01- IPCAMERA01	基本
カメラ名	IPCAMERA01
モデル名	Other Camera
IPアドレス	192.168.0.2
MACアドレス	
RTSPポート	554
ユーザー名	
パスワード	
ストリームプロファイル	
メインプロファイル RTSP URL	ONVIF/Streaming/channels/0
サブプロファイル RTSP URL	ONVIF/Streaming/channels/1

こんなときは

症状	処置
電源が入らない	電源ケーブルが正しく差し込まれているかご確認ください。
カメラが検索できない	- 各カメラの取扱説明書に従い、IP アドレスの設定をご確認ください。 - DHCP サーバーを使用している場合は、本機が起動している状態でカメラの電源をいったんオフにしてからオンにしてください。 - カメラのユーザー名とパスワードが初期設定から変更されている場合、検索できないことがあります。
操作できない	ログアウトされていないかご確認ください。
録画されない	取扱説明書 56 ページの「カメラ」-「スケジュール」で、設定が有効になっているかご確認ください。

異常処理メッセージが表示された時の対応

ネットワークビデオレコーダー本体に接続されたモニターに以下の異常処理メッセージが表示された場合は、「対処方法」欄の対応を行ってください。それ以外の異常などについては、最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

異常処理メッセージ	状態	対処方法
ディスクフル !!	HDD の空き容量がありません。	以下のいずれかを行ってください。 「ストレージ」-「一般」の「上書き」を「オン」にする。(取扱説明書 73 ページ) 「ストレージ」-「一般」の「自動削除」を適切な値に設定し、古い記録映像を削除する。(取扱説明書 73 ページ) 「ストレージ」-「ディスク状態」の「フォーマット」を行い、記録映像を削除する。(取扱説明書 74 ページ)
ディスク故障 !! ディスクなし !!	HDD が故障、もしくは接続されていません。	最寄りのサービス窓口へお問い合わせください。
ディスク温度過上昇 !!	HDD が高温になっています。	本機の設置場所の温度が「仕様」の「許容動作温度」の範囲内であることをご確認ください。「許容動作温度」の範囲内である場合は、本機の電源を切り、最寄りのサービス窓口へお問い合わせください。

異常処理メッセージ	状態	対処方法
ネットワークロス !! (LAN Port / WAN Port)	ネットワーク (LAN または WAN) が切断されています。	ネットワークケーブル、スイッチングハブやルーターに問題が無いか、ご確認ください。リモート接続 (WAN) を使用しない場合は、「ネットワーク設定」-「WAN」の「ネットワークタイプ」にて「無効にする」を選択してください。(取扱説明書 57 ページ)
ファン故障 !!	ファンが故障しました。	本機の電源を切り、最寄りのサービス窓口へお問い合わせください。
電源損失 !!	電源損失により、本機が再起動しました。	電源系統に問題が無いか、ご確認ください。問題がない場合は、最寄りのサービス窓口へお問い合わせください。
IP コンフリクト !! on (LAN/ WAN) Port with *****	LAN または WAN のネットワークに、IP アドレスが重複している機器が接続されています。 (「*****」は、IP アドレスが重複している機器の MAC アドレスです。)	本機やその他の機器には、重複しない IP アドレスを設定してください。

工場出荷設定に戻すには

取扱説明書 75 ページの「ユーザープロファイル」-「工場出荷時のデフォルトに復元」の操作をしてください。

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品は保証書を本書の裏表紙に記載しております。製造番号は、保証書に記載または貼付されています。製造番号、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

ご注意：製造番号が記載または貼付されていない保証書は無効となります。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしません。故障その他による営業上の機会損失は補償いたしません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

性能部品の保有期間

当社は、補修用性能部品を製造打ち切り後 8 年保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

サービス窓口

- ・下記 URL をご覧ください。
<http://www3.jvckenwood.com/pro/service.html>
- ・カスタマーサポートセンター (045-939-7320)

サービスについてのお問い合わせ先

修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

消耗部品について

下表は消耗部品の一覧です。これらの部品交換にともなう部品代、および技術料、出張料を含む修理費用は、保証期間内でも有償となります。

部品名	備考
HDD	18,000 時間 (約 2 年) のご使用をめやすにメンテナンスしてください。
ファン	40,000 時間 (約 4 年) のご使用をめやすにメンテナンスしてください。

- ・メンテナンスまでの時間は、25℃環境で使用したときのめやすであり、使用環境により異なります。

メンテナンスの計画、費用などのご相談は、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に必要なことをお知らせください。

品名	：ネットワークビデオレコーダー
型名	：VR-X3108 または VR-X3116
お買い上げ日	：
故障の状況	：故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	：
お名前	：
電話番号	：

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

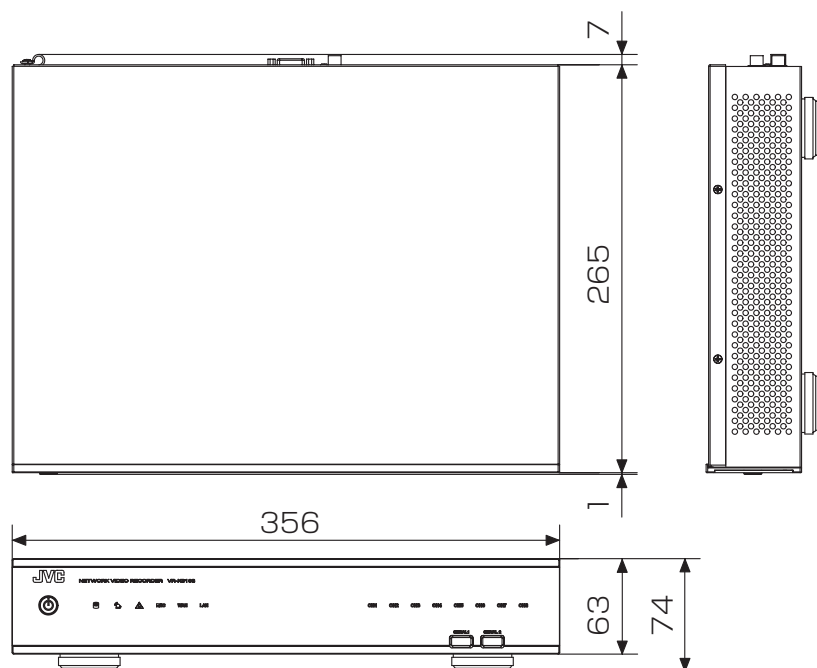
型名	VR-X3108	VR-X3116
システム		
操作	ライブ、録画、再生、エクスポート、リモートアクセス	
内部ストレージ	SATA HDD × 1 (4 TB)	SATA HDD × 2 (8 TB)
映像		
圧縮	H.264 High Profile	
ネットワークカメラ入力	8 チャンネル、 各最大フル HD 30 ips	16 チャンネル、 各最大フル HD 30 ips
音声		
入力	レベル -1.5 dBV、 インピーダンス 24 kΩ	レベル 3 dBV、 インピーダンス 7.7 kΩ
出力	レベル -9 dBV、 インピーダンス 10 kΩ	レベル 0 dBV、 インピーダンス 16 Ω
音声録音 / 再生	可能	
表示		
表示モード	単画面／分割画面／ PIP ／自動切り替え／全画面表示	
出力	出力：VGA (D-Sub15 ピン) (最大 フル HD、60 Hz) × 1	
自動切り替え	可能	
リモートビュー	可能 (IE Web Viewer、Security Center)	
スマートフォン／タブレット PC での表示	可能 (iOS、Android)	
録画		
録画モード	スケジュール録画、ノーマル録画、イベント録画	
録画性能	最大 240 ips のフル HD	最大 480 ips のフル HD
プリ記録	0 ～ 5 秒	
ポスト記録	0 ～ 255 秒	
再生とエクスポート		
表示モード	単画面／分割画面／ PIP ／全画面表示	
再生機能	8 チャンネル同時再生	16 チャンネル同時再生
再生制御	再生／一時停止／ステップ／早送り／早戻し	
検索	チャンネル、日付／時刻、イベントによる検索	
エクスポート	USB メモリー／ Web ページ／ Security Center より可能	

ネットワーク		
サポート	TCP/IP、SMTP、DHCP、DDNS、PPPoE、UDP、SSL、RTP、RTSP、NTP	
イーサネット	10/100 Mbps (WAN) × 1、 10/100/1000 Mbps(LAN) × 1	10/100/1000 Mbps (WAN) × 1 10/100/1000 Mbps (LAN) × 1
再生配信	最大 8 チャンネルの配信	最大 16 チャンネルの配信
ライブ配信 + 再生配信	最大 32 チャンネルの配信	最大 64 チャンネルの配信
I/O		
シリアル	2 (マウス、USB メモリー、UPS 用)	4 (マウス、USB メモリー、UPS 用)
アラーム	8 アラーム入力 2 アラーム出力	16 アラーム入力 4 アラーム出力
セキュリティ		
改ざん検出	可能	
ユーザーの権限	3 段階のユーザーアクセスレベル	
一般		
使用電源	AC アダプター 入力AC 100 V 50 Hz/60 Hz 出力DC 12 V 7 A	AC 100 V 50 Hz/60 Hz
消費電流	1.6 A 以下 (最大2.4 A、消費電力21 W以下)	0.6 A 以下 (消費電力 50 W 以下)
許容動作温度	5℃～ 40℃	
許容動作湿度	30 % RH ～ 80 % RH (結露なきこと)	
質量	約 2.5 kg	約 6.3 kg

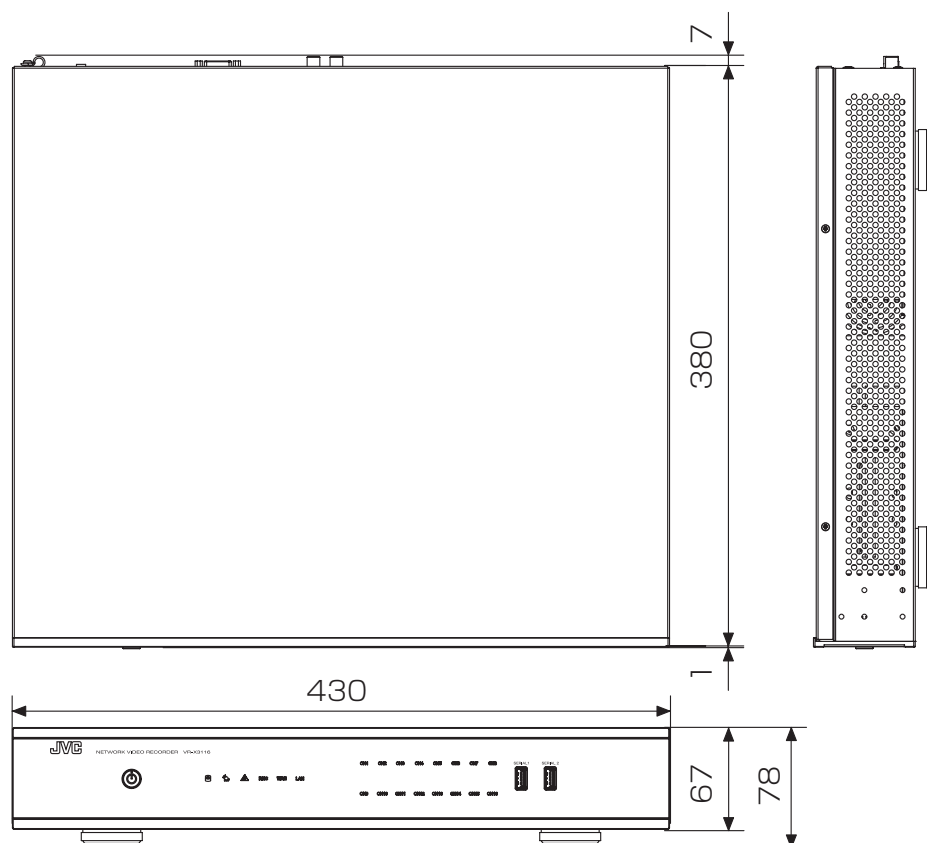
※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

外形寸法図 (単位：mm)

VR-X3108



VR-X3116



付属品

このパッケージには、以下が同梱されています。

VR-X3108

- クイックユーザーガイド× 1
- AC アダプター× 1
- 電源ケーブル（約 1.8 m）× 1
- CD-ROM（取扱説明書／クイックユーザーガイド／簡単ガイド／ Security Center）× 1
- 簡単ガイド× 1
- ターミナル（アラーム端子ブロック）× 4

VR-X3116

- クイックユーザーガイド× 1
- 電源ケーブル（約 1.8 m）× 1
- CD-ROM（取扱説明書／クイックユーザーガイド／簡単ガイド／ Security Center）× 1
- 簡単ガイド× 1
- ターミナル（アラーム端子ブロック）× 4
- ラックマウント金具
- ラックマウント金具取付ねじ（M4）× 6
- ラックマウント用組込みねじ（M5）× 4

対応ネットワークカメラ一覧

製造元	モデル
JVCケンウッド・ 公共産業システム	VN-H37、VN-H37B、VN-H137、VN-H137B、VN-H237、 VN-H237B、VN-H57、VN-H57B、 VN-H157WP、VN-H257、VN-H257VP、VN-H257VPB、 VN-H257VPC、 VN-H657、VN-H657B、VN-H657WP、VN-H657WPB、VN-H557、 VN-H28、VN-H228、VN-H228VPR、VN-H128WPR、VN-H328 VN-E4B VN-H68（バージョン 2.01 以降で対応）

メモ VN-E4B は、アナログカメラをネットワークカメラとして使用するためのネットワークエンコーダーです。

対応 UPS 一覧

製造元	モデル
APC	BR550G-JP
OMRON	BY50FW 、BY80S

記録時間表

本機を使用した場合の記録時間の対応表です。
 実際の記録時間はカメラの設定内容や入力映像の内容などの条件により異なります。めやすとしてご利用ください。

VR-X3108 8ch 記録、音声 8ch の場合
VR-X3116 16ch 記録、音声 16ch の場合

(単位：時間)

		メインプロファイル ビットレート (kbps)												
ビットレート (kbps)		8192	4096	3584	3072	2048	1536	1024	768	512	384	256	128	64
ビデオサイズ FPS の例		Full HD 30fps		Full HD 15fps		720p 30fps		720p 15fps	VGA 30fps	VGA 15fps		VGA 10fps	VGA 5fps	VGA 2fps
サブ プロ ファイル (kbps)	1024	115	207	229	258	342	409	508	578	671	729	798	883	932
	768	118	217	243	275	372	453	578	671	798	883	986	1118	1198
	512	122	229	258	294	409	508	671	798	986	1118	1290	1525	1677
	384	124	236	266	305	430	541	729	883	1118	1290	1525	1864	2097
	256	126	243	275	316	453	578	798	986	1290	1525	1864	2396	2796
	128	128	250	284	328	479	621	883	1118	1525	1864	2396	3355	4194
	64	129	254	289	335	493	645	932	1198	1677	2097	2796	4194	5592

VR-X3108 8ch 記録、音声なしの場合
VR-X3116 16ch 記録、音声なしの場合

(単位：時間)

		メインプロファイル ビットレート (kbps)												
ビットレート (kbps)		8192	4096	3584	3072	2048	1536	1024	768	512	384	256	128	64
ビデオサイズ FPS の例		Full HD 30fps		Full HD 15fps		720p 30fps		720p 15fps	VGA 30fps	VGA 15fps		VGA 10fps	VGA 5fps	VGA 2fps
サブ プロ ファイル (kbps)	1024	116	209	233	262	349	419	524	599	699	762	838	932	986
	768	119	220	246	279	381	466	599	699	838	932	1048	1198	1290
	512	123	233	262	299	419	524	699	838	1048	1198	1398	1677	1864
	384	125	239	270	310	441	559	762	932	1198	1398	1677	2097	2396
	256	127	246	279	322	466	599	838	1048	1398	1677	2097	2796	3355
	128	129	254	289	335	493	645	932	1198	1677	2097	2796	4194	5592
	64	130	258	294	342	508	671	986	1290	1864	2396	3355	5592	8388

時間のめやす

24 - 168	169 - 720	721 -
1 日 ~ 1 週間	1 週間 ~ 1 ヶ月	1 ヶ月以上

初期値一覧

メニュー大項目	メニュー小項目	設定項目	初期値
カメラ設定	基本	カメラ名	IPCAMERA01 ~ 08(VR-X3108) IPCAMERA01 ~ 16(VR-X3116)
		マネージメントポート	80
		ユーザー名	admin
		パスワード	jvc
		ストリームプロファイル	1920x1080(1)+640x360(2) VN-E4B の場合は 640x480(1)+ 320x240(2)
		メインプロファイル フレームレート	30 fps(VN-H37/VN-H57 シリー ズの場合は 5)
		メインプロファイル ビットレート制御	CBR
		メインプロファイル 最大ビットレート	2048 kbps (VN-E4B の 場 合 は 1024)
		サブプロファイル フレームレート	30 fps(VN-H37/VN-H57 シリー ズの場合は 5)
		サブプロファイル ビットレート制御	CBR
		サブプロファイル 最大ビットレート設定	1024 kbps
	高度な設定 ビデオカラー 設定の調整	ブライトネス	(※カメラに設定されている値に従う)
		コントラスト	
		カラーレベル	
		色相	
		エンハンスレベル	
	ビデオロス処理	ブザー	オフ
		アラーム出力	全てオフ
		メール送信	オフ
		トリガーカメラ	対象カメラのみオン
	動き検出	有効にする	オフ
		ブザー	オフ
		スポットメインモニター	オフ
		アラーム出力	全てオフ
		メール送信	オフ
		トリガーカメラ	対象カメラのみオン
	PTZ	有効にする	オン (PTZ 非対応カメラはオフ)
録画		音声記録	オン
		プリ記録 (0 ~ 5)	2
		ポスト記録 (0 ~ 255)	10
スケジュール		期間設定	00:00 ~ 24:00 「ノーマル録画+イベント録画」

メニュー大項目	メニュー小項目	設定項目	初期値
ネットワーク 設定	WAN	ネットワークタイプ	固定 IP
		IP アドレス	192.168.001.253
		サブネットマスク	255.255.255.000
		デフォルトゲートウェイ	192.168.001.254
		プライマリー DNS	000.000.000.000
		セカンダリー DNS	000.000.000.000
		HTTP ポート	80
		RTSP ポート	554
	LAN	ネットワークタイプ	固定 IP
		IP アドレス	192.168.000.253
		サブネットマスク	255.255.255.000
		デフォルトゲートウェイ	192.168.000.254
		プライマリー DNS	000.000.000.000
		セカンダリー DNS	000.000.000.000
	DDNS	有効にする	オフ
サービス	サービス	NTP サーバー	オフ
		UPnP	オフ
		IP 自動割り当て	オフ
	DHCP サーバー	有効にする	オフ
		範囲	100 ~ 250
メール設定	メール設定	件名	Alert
		SMTP ポート	25
		SSL	オフ
		STARTTLS	オフ
		認証	オフ
アラーム設定		有効にする	オン
		アラーム名	Sensor 01 ~ 08 (VR-X3108) Sensor 01 ~ 16 (VR-X3116)
		アラームタイプ	NO (メイク接点)
		アラーム持続時間	タイムアウト 30 秒
		ブザー	オフ
		スポットメインモニター	オフ
		アラーム出力	全てオフ
		メール送信	オフ
		トリガーカメラ	アラーム入力番号と同一のチャンネル ID のカメラのみオン
異常処理	ディスクフル ディスク故障 ディスクなし ネットワークロス 不正ログイン ディスク温度過上昇 ファン故障 電源損失 IP コンフリクト	ブザー	オフ
		アラーム出力	全てオフ
		メール送信	オフ

メニュー大項目	メニュー小項目	設定項目	初期値
デバイス		NVR 名	Network Video Recorder
		NVR No.	1
		言語	日本語
		音声を有効にする	オン
		ログイン認証を有効にする	オフ
		自動的にログアウト	オフ
		自動検索とカメラ登録を有効にする	オフ
		UPS	オフ
ユーザー		01	admin / jvc
		02	operator / jvc
		03	guest / jvc
		04 ~ 32	
日付 / 時刻	一般	タイムゾーン	GMT+09:00
		日付フォーマット	YYYY/MM/DD
		時間フォーマット	24 時
	夏時間	有効にする	オフ
	NTP クライアント	有効にする	オフ
		同期間隔 (分)	60
		NTP サーバー	pool.ntp.org
		NTP ポート	123
ディスプレイ表示	一般	モニター解像度	オート
	メインモニター 自動切り替え	有効にする	オフ
		自動切り替え時間	5
		カメラ	全てオン
ストレージ	一般	上書き	オン
		自動削除 (0: オフ)	0

※お客様様	お名前 ふりがな	様
	ご住所 〒	
	電話番号 ()	
型名 製造番号		
保証期間（お買い上げ日より）		
本体： 1年間		
※お買い上げ日		
年 月 日		
※取扱販売店名、住所、電話番号		

※印欄は必ず記入ください。

3. 次のような場合は、保証期間内でも有料修理にさせていただきます。

- (1) 本書のご提示がない場合。
- (2) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合、及び本書に記載の字句（製造番号など）を書き換えられた場合。
- (3) ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- (4) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
- (5) 火災、地震、風水害、雷、その他の天災地変、虫害、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障及び損傷。
- (6) 不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合。
- (7) 特殊な環境条件下での故障及び損傷。
- (8) 各部の点検又は定期保守の費用。
- (9) 消耗品（電池、カメラの撮像素子、ランプ、モーター、HDD、液晶パネルの経時による劣化や残像や焼付け、表示ムラ、及び取扱説明書に記載されている消耗部品など）の部品代、交換技術料。また、1年間を超える保証期間の場合、お買い上げ日から1年間経過後は、上記消耗品の他にカメラ付属のレンズ組立も有料になります。
- (10) 出張修理対象商品の場合。
離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- (11) 持込み修理対象商品の場合。
修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様のご負担とさせていただきます。
また、出張修理を行った場合には、出張料はお客様のご負担とさせていただきます。

4. この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。尚、故障、その他による営業上の機会損失や記録内容等ソフト内容の補償は致しかねます。この保証書によって（株）JVCケンウッド・公共産業システム、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

お客様へのお願い

1. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は直ちに買い上げ販売店にお申し出ください。
2. 保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合や、ご贈答品等で、本書記載のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
3. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
5. 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。ご不明の場合は、お買い上げの販売店又はJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター

固定電話  0120-2727-87
 携帯電話・PHS  0570-010-114
 一部のIP電話など 045-450-8950
 FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12